

洪水ハザード情報

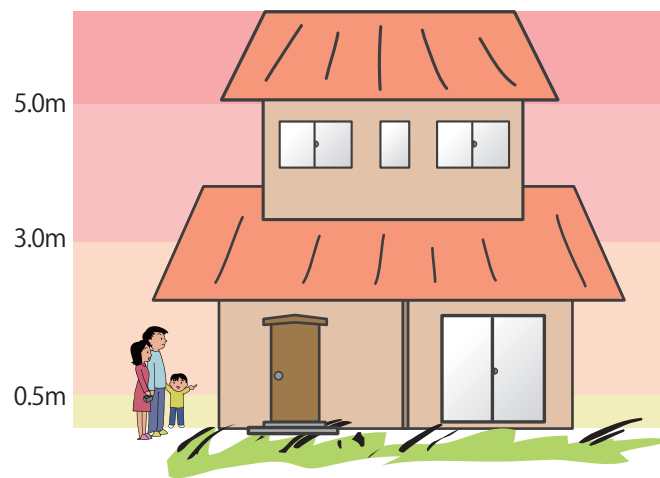
水防法に基づき、洪水ハザード情報をマップに掲載しています。
以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

1 説明

- 雪谷川・瀬月内川について、計画規模の降雨(1/100の年超過確率)と、想定し得る最大規模の降雨(1/1000以上の年超過確率)による洪水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示したハザード情報です。
- この浸水想定区域などは、指定時点の河道の整備状況を勘案して、氾濫した場合の状況をシュミレーションにより予測したものです。
- この防災マップをご使用の際は、支川の氾濫、想定を超える降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合がありますので十分注意しましょう。

- 浸水ランクの目安 想定した大雨の規模・計画規模(流域内で一律に2日間雨量が207.6mm)
・想定最大規模(流域内で一律に2日間雨量が635.9mm)

10~20m の区域	ビルの4階から6階が浸水する程度
5.0~10m の区域	・2階の屋根まで浸水する程度 ・ビルの3階まで浸水する程度
3.0~5.0m の区域	2階が浸水する程度
0.5~3.0m の区域	1階が浸水する程度
0.5m の区域	大人の膝までつかる程度



2 洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

洪水注意報(気象庁)

- 洪水によって災害が発生するおそれがある場合、その旨を注意して行う。

洪水警報(気象庁)

- 洪水によって重大な災害が発生するおそれがある場合、その旨を警告して行う。

水位周知を行う河川

- 雪谷川・瀬月内川については、避難判断水位、氾濫危険水位が設定されています。水位情報等は、県のホームページ「岩手県河川情報システム」で確認できます。

雪谷川・瀬月内川の想定最大規模(1/1000以上の年超過確率)の洪水浸水想定区域図は35頁~42頁に掲載しています。

3 避難時の注意点

①安全で動きやすい服装を

- ・ヘルメット等で頭を保護する。
- ・裸足で避難しない。脱げにくい運動靴で避難する。
- ※長靴は水が溜まると動きにくくなるのではない。

②足元に注意

- ・水の深さに注意する。
- ※歩行可能な水深は一般的に男性70cm、女性50cm。水の流が速い場合はさらに注意が必要!
- ・水があふれたときは、マンホールや側溝、石などが危険。杖や長い棒で進行方向を確認しながら歩くようにしましょう。

③隣近所で声を掛けあって避難

- ・単独行動はしない。
- ・はぐれないようロープで互いの体を結んで流されないようにしましょう。

④要配慮者の安全確保

- ・病人や高齢者などは背負って避難する。
- ・子供は大人が手をつないで避難させる。その際、浮き袋を付けるようにしましょう。